

みどり認定

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省カ化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

## 生活クラブ虹と風のファーム・生活クラブ風の村（千葉県八街市）



農仲舎八街

### 【生産概要】（令和5年産）

- ・農地面積：約6ha（ソーラーシェアリング、ビニールハウス、露地栽培）
- ・栽培品目：年間約20品目（小松菜、ほうれん草、レタス、かぼちゃ、人参、玉ねぎ、ネギ、ダイコン、かんしょなど）

### 【経営概要】 代表者 橋口 卓弥

- ・2016年 福祉農園としてスタート
- ・2019年 生活クラブ生協が運営参加
- ・2022年 農場内に就労継続支援B型事業所（農仲舎八街）を設立

### 【販売概要】 生活クラブ風の村（福祉施設）、生活クラブ連合会、スーパー等

#### ■ 取組の特徴

- ・障害を持っている方や働きづらさを抱えている方などと農業を繋ぎ、持続可能な生産と消費の実現に向けて、農福連携の取組をはじめ、地域での自給圏づくりなど「農業と福祉」を形にしたユニバーサル農業に取り組んでいます。
- ・環境に優しい農業を目指して、堆肥や緑肥を施用して減農薬減化学肥料栽培に取組み、有機ほ場（転換期間中）の設置や栽培品目によっては無農薬無化学肥料で栽培。
- ・農場内に就労継続支援B型事業所として「農仲舎八街」を設立、持続可能な生産体制を確立しました。

#### ■ 取組のメリット

- ・2022年から生活クラブ生協と共に営農型太陽光発電（ソーラシェアリング）を開始（イチゴを栽培しジャムの加工・販売）、地域社会の中で「食べ物・エネルギー・福祉」を自給・循環させる「ローカルSDGs」を展開。
- ・環境負荷低減に向けて「千葉エコ農産物」の栽培基準に準じて栽培、「みどり認定」取得に向けて申請準備中!

#### ■ 今後取り組みたいこと

- ・異常気象下での持続可能な農業生産と環境負荷低減を図るため、「土を育てる」視点から土中の微生物総数を点検指標とした土づくりを進めたい。
- ・2025年度での市民農園開設に向け準備中! 農に関心を持つ関係人口の増加を図りたい。



事務局所在地：千葉県八街市八街ろ 143-89

お問い合わせ：<https://chiba.seikatsuclub.coop/nijinomachi/farm.html>